

個人 SV 演習チェックリスト（バイジー役用）

面接を振り返って、SV をしてくれたスーパーバイザー役の行動について、チェックしてあげましょう。

1. 面接の基本姿勢・倫理・態度

- 挨拶と自己紹介をした。
- 机の上は整理整頓されていた。
- SV の時間を最初に説明された。
- 決まった時間の最後まで話を聴き続けた。（面接を時間途中で終わりにしなかった）
- 丁寧に話を聴こうとしてくれていると感じた。

2. 正したい反射

- あなたの考えに対して、バイザー自身の考えを押し付けられた感じはしなかった。
- 面接の前半で解決策に関するアドバイスをされなかった。
- 話を遮られたり、話の腰を折られたりしなかった。
- バイザーは自分の経験談を話さなかった。
- 安易に「よくわかります」「そうですよね。」と同意されることはなかった。
- バイザーは、アドバイス・情報提供のあとに、必ずあなたの意向や意見を質問した。

3. かかり行動

- あなたと適度に視線をあわせてくれた。
- 貧乏ゆすりや手遊びなどはなかった。
- 座る位置や姿勢は適切だった。
- メモを取りすぎていなかった。
- 話の腰を折られた感じはしなかった。

4. 基本的傾聴技法の連鎖

- 事例ではなく、あなたの悩みごとにとても関心を持ってくれた。
- あなたの感情を明確にしてくれた。
- 面接全体の内容を要約してくれた。
- 開かれた質問を、閉じた質問より多く用いた。

5. SV の手順

- 事例の課題が明確になった。
- 自分の支援の課題が明確になった。
- 面接の終了にあたって、あいさつされた。
- またこの人に相談したいと思えた。
- 最後に今後の支援についての不安や疑問がないかをきいてくれた。

話しやすいと感じたバイザーの行動	改善するとよりよくなると感じたバイザーの行動